

# 放射性物質拡散からこれまでの状況 と福島県の農業再生に向けて ～被災住民の理解への取組～

講演者：万福裕造

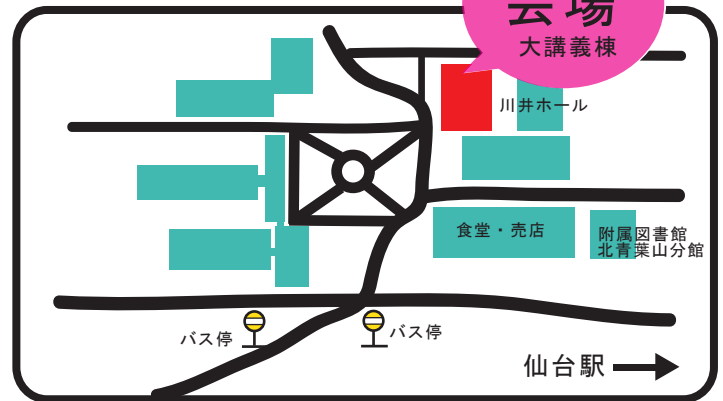
独立行政法人 国際農林水産業研究センター 企画調整部 情報広報室  
技術促進科長（兼 福島県 飯舘村 復興対策課）

日時：2014年9月9日（火）  
16：00～17：00  
（15：00 開場）

会場：東北大学大学院理学研究科  
大講義棟

主催：日本薄片研磨片技術研究会  
共催：日本粘土学会  
協賛：東北大学大学院理学研究科

会場  
大講義棟



飯舘村をはじめ、東日本大震災に伴う原子力発電所の事故から3年半が経とうとしています。震災により放射能で汚染された地域は農地除染を含めて、農業再生への取り組みの加速が期待されています。農業再生のためには、放射性物質の科学的な理解に基づく、農地除染技術や放射性物質の作物への吸収抑制技術の開発と実践が必要です。これらの技術開発・実証に向けて、被災地では、福島県、国の研究機関と連携協力して参りました。今回、これらの成果を直接お伝えすることにより、被災地の農業復興に向けて、皆様とともに考えさせていただく場となれば幸いです。

## 東北大学理学研究科までのアクセス



JR 仙台駅西口バスプール 9 番乗り場より「青葉通・理・工学部・仙台城跡南経由 動物公園循環 (719 系統)」に乗り、「理学部自然史標本館前」で下車。バス停近く。(所要約 20 分)

※ 駐車スペースはございません。車でのお越しはご遠慮下さい。

予約なしでも聴講可能ですが、席に限りがございますのでご了承ください。(300 人)

\*事前の申し込みも受け付けております。聴講予約を希望される方は、申込用紙に必要事項を記載の上、下記までお申し込みください。  
(2014年8月31日締め切り) 尚、実証米配布は先着 200 名様に限らせて頂きます。

○ 申し込み先。

FAX 022-795-6670 (事務局 伊藤 宛)

メール [yoshinori-ito@m.tohoku.ac.jp](mailto:yoshinori-ito@m.tohoku.ac.jp)

担当 東北大学大学院理学研究科地学専攻技術室・日本薄片研磨片技術研究会事務局

伊藤 嘉紀

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 (TEL:022-795-6670)

詳細は当研究会 HP または東北大学大学院理学研究科 HP をご覧ください。(8 月上旬に掲載予定です)

日本薄片研磨片技術研究会 「 <http://jsstpm.com/> 」

東北大学大学院理学研究科 「 <http://www.sci.tohoku.ac.jp/> 」